

# 2040年を見据えた

## 上野南部地域の未来と地域づくりを考える



# 第5次 伊賀市地域福祉活動計画の策定

## 地域福祉活動計画

地域の住民や団体、社会福祉協議会などが協力して、地域の課題を明らかにし、住民主体で支え合いや助け合いの活動を進める指針となる行動計画です。

市が策定する「伊賀市地域福祉計画」と連動して策定します。

## 地域福祉ネット ワーク会議

地域福祉課題の解決に向け検討する場として、住民自治協議会を単位に構成する会議です。

### 相互循環

#### 地域福祉計画

市の社会福祉にかかる計画の横断的・包括的な計画で、地域共生社会の実現に向けた、施策計画

連携

#### 地域福祉活動計画

市地域福祉計画の方向性に基づいた、地域福祉の活動・支援の実践計画

提案

ニーズの  
抽出・  
意見反映

#### 地域まちづくり計画

住民自治協議会が抱える地域課題の解決を図るため、住民自らが取り組む内容や方針の実践計画

# 2040年

日本では人口の約35%が高齢者に

生産年齢人口の減少

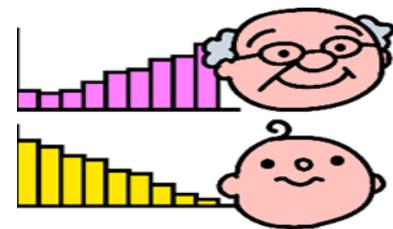
→ 社会保障制度や地域の支え手の不足

単身・高齢世帯の急増

→ 地域とのつながりが希薄に

# 伊賀市の人口推移

(15年前と現在の人口・高齢化率比較)



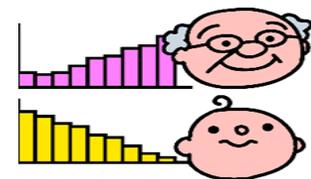
15年前 (2010年3月)		
地区	人口	高齢化率
伊賀市	100,566人	26.5%
上野	62,767人	25.5%
伊賀	10,734人	27.6%
島ヶ原	2,519人	37.4%
阿山	7,865人	28.7%
大山田	5,604人	31.5%
青山	11,077人	24.3%

15年後



現在 (2025年3月)	
人口	高齢化率
84,060人 (-16506)	34.2% (+7.7)
53,948人 (-8819)	31.1% (+5.6)
8,864人 (-1870)	37.6% (+10.0)
1,856人 (-663)	49.5% (+12.1)
6,181人 (-1684)	39.3% (+10.6)
4,646人 (-958)	39.7% (+8.2)
8,565人 (-2512)	40.7% (+16.4)

# 上野南部地区の人口推移（15年前と現在の人口・高齢化率比較）



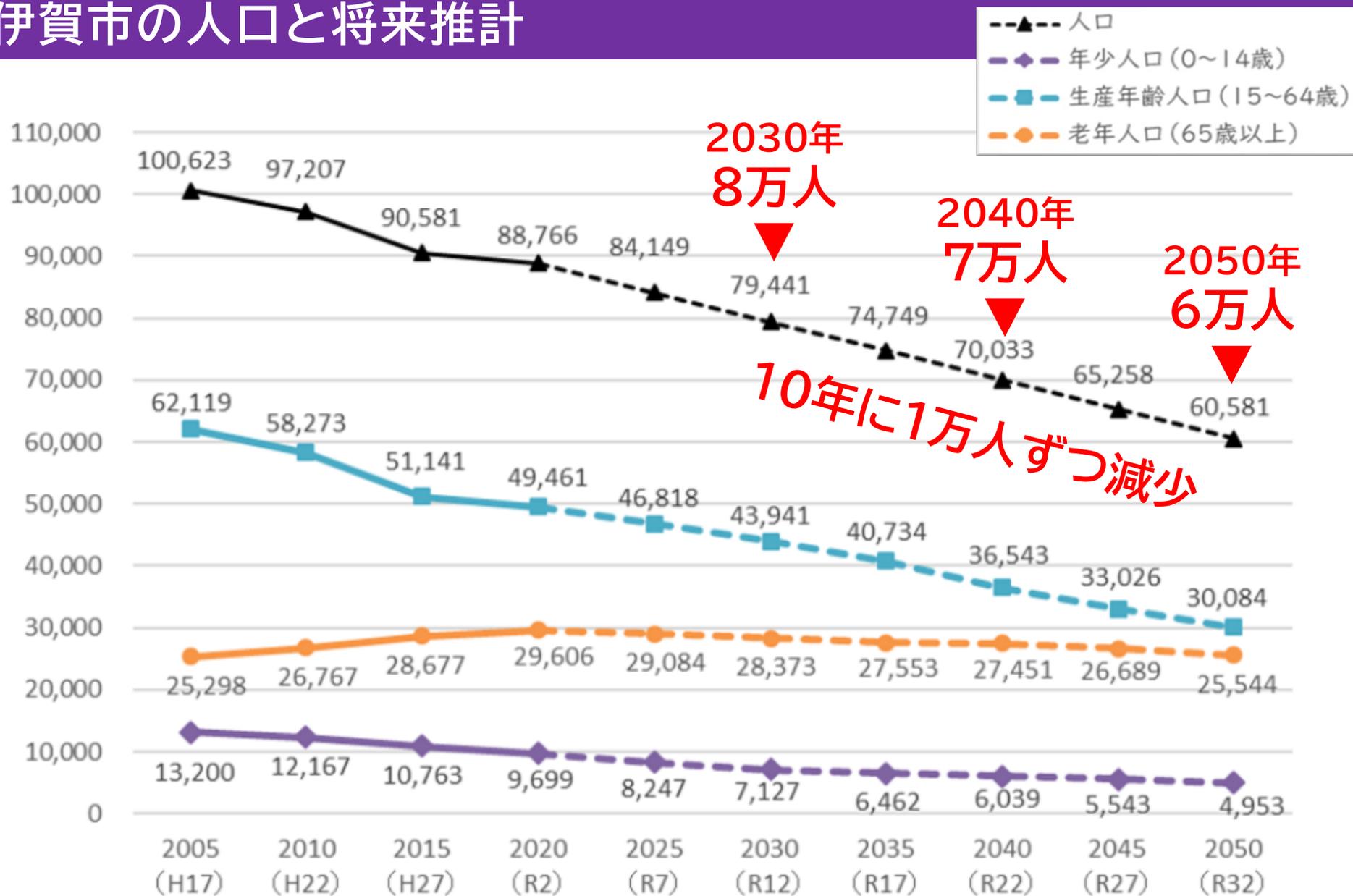
2010年	人口	高齢化率
上野南部	4,197	34.10%
茅町	331	23.30%
池町	202	46.00%
恵美須町	210	39.00%
桑町	1,182	33.20%
東日南町	107	26.20%
西日南町	145	41.40%
愛宕町	485	41.60%
鉄砲町	310	28.10%
万町	283	33.20%
東忍町	379	35.60%
西忍町	563	32.50%

15年後



2025年	人口	高齢化率
上野南部	3,278	38.60%
茅町	229	32.80%
池町	152	50.70%
恵美須町	145	52.40%
桑町	891	40.50%
東日南町	86	30.20%
西日南町	146	31.50%
愛宕町	385	40.80%
鉄砲町	276	20.70%
万町	228	43.40%
東忍町	317	37.20%
西忍町	423	41.10%

# 伊賀市の人口と将来推計



図表27 伊賀市の人口と将来推計（国勢調査と社人研推計による）

# 伊賀市の年齢別人口

2040年、日本人の  
約3人に1人が65歳以上  
になるといわれている

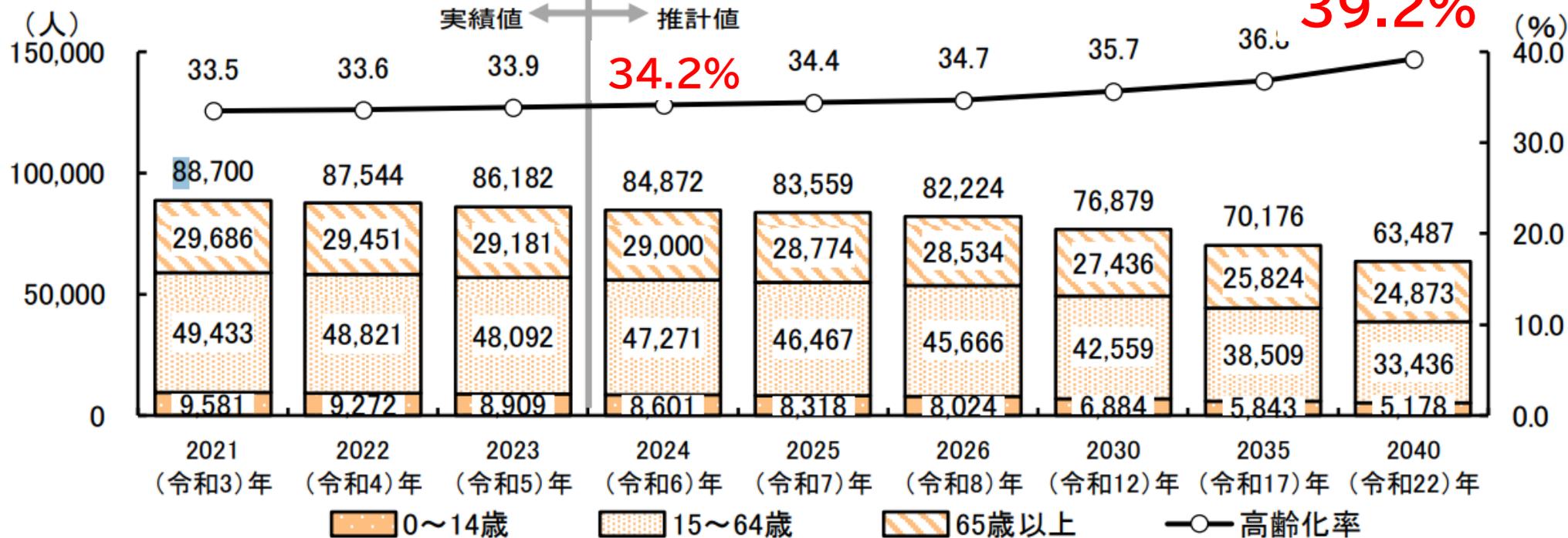
約3人に1人が  
高齢者



約2.5人に1人  
が高齢者



39.2%



[資料：住民基本台帳（9月末日現在）に基づき、コーホート変化率法にて推計]

# 伊賀市におけるさまざまな社会課題



## 社会的孤独・孤立

孤立・孤独のない社会の実現



## 認知症

認知症が原因の行方不明による死亡者をゼロに



## コロナによる生活課題

新型コロナウイルスによって発生した新たな日常生活課題の解決



## 生活困窮者

生活困窮から脱することのできる機会が公平にある社会の実現



## 子どもの貧困

どのような環境に生まれ育っても、全ての子どもが当たり前にあるべき環境が得られる社会の実現



## 災害

子どもからお年寄りまで、災害でも取り残さない支援



## 住まいの確保

高齢・障がい・貧困等で住まいを確保できない人をなくす



## マイノリティ

外国人・障がい者・LGBT等のマイノリティで生きづらさを抱える市民の減少

# あなたの生活の中で 起こっている身近なテーマで話し合ってみませんか？



# ●地域活動運営

- ・町内会・自治会の加入率の低下全国平均で自治会等への加入率は、2010年度の74.2%から2020年度には67.0%と10年で約7.2ポイント減少し、都市部ではさらに深刻です(例:特別区では64.4% → 57.9%)
- ・ボランティア活動への参加率の低下2021年の全国ボランティア活動参加率は17.8%。特に若年層(20歳代)は11.2%と参加が低調です
- ・NPO法人における人材・後継者不足内閣府の調査では、NPO法人の約66.9%が「人材の確保や教育」、44.8%が「後継者の不足」を課題に挙げています

※行政情報ポータルより



# ●地域活動運営

・地域コミュニティ活動の担い手と高齢化の実態総務省「地域コミュニティ活動実態調査」(令和4年度)によると、町内会・自治会の役員の平均年齢は66.7歳(10年前は62.3歳)。役員不足を「深刻」とする自治体は全国で68.3%、特別区では76.2%に上ります。また、新規加入率は全国平均で47.8%、特別区では32.7%にとどまります

・地域活動への参加障壁・情報不足の実態内閣府調査では、不参加の理由として「活動の情報がない」が40.8%、「参加する時間がない」が45.3%。また、市区町村の86.1%が「担い手不足」、82.8%が「高齢化」を課題に挙げています



※行政情報ポータルより

# 災害



タイムトラベルボードを使って  
自分の家やお隣のおうちの  
15年後を考えてみましょう！



# タイムトラベルボード

現在

私の家

おとなりさん  
(回覧板をくれるお家)

おとなりさん  
(回覧板をわたすお家)

# タイムトラベルボード

現在

## 私の家

おとなりさん  
(回覧板をくれるお家)

旦那さん (30) ←  
おくさん (25) ←



おじいさん (73) ←  
おばあさん (70) ←  
おとうさん (40) ←  
おかあさん (35) ←  
ぼく (10) ↓  
わたし (8) ←  
あかちゃん (0) ←



おとなりさん  
(回覧板をわたすお家)

おじいさん (82) ←  
おばあさん (82) ←



# タイムトラベルボード

15年後

私の家

おとなりさん  
(回覧板をくれるお家)

おとなりさん  
(回覧板をわたすお家)

# タイムトラベルボード

15年後

## 私の家

おとなりさん  
(回覧板をくれるお家)

お父さん (45) ←  
お母さん (40) ←  
わたし (10) ←  
ぼく (0) ←



おじいさん (88) ←  
おばあさん (85) ←  
おとうさん (55) ←  
おかあさん (50) ↓  
わたし (23) ←  
あかちゃん (15) ←



おとなりさん  
(回覧板をわたすお家)

空き家 ←



わたしたちが  
今できること

2040年に向けてできることは  
何でしょう？

# 4つの窓

- ①【強み】わたしたちのまちのよいところ
- ②【弱み】わたしたちのまちで困っていることや課題
- ③【理想】15年後、こんな街であつたらいいな
- ④【解決方法】それに向けてわたしたちができること

# ～伊賀市の未来を考える～

グループ番号：

わたしたちのまちのよいところ

強み

わたしたちのまちで困っていることや課題

弱み

15年後、こんな街であつたらいいな

理想

それに向けてわたしたちができること

市民

地域

行政

解決方法

19

# ～伊賀市の未来を考える～

## わたしたちのまちのよいところ◀


## わたしたちのまちで困っていることや課題◀

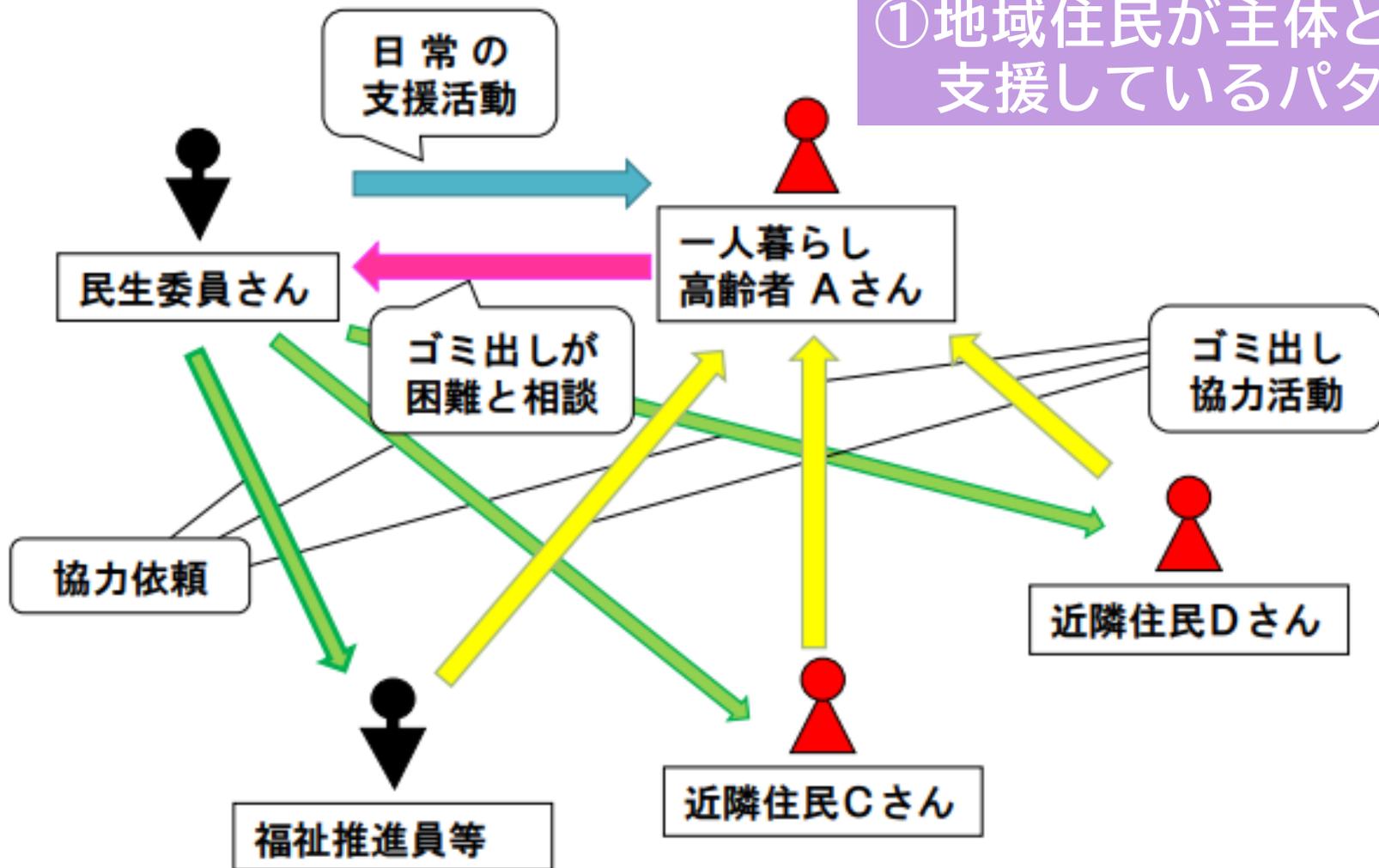

## 15年後、こんな街であつたらいいな◀


## それに向けてわたしたちができること◀

市民	地域	行政◀

# 氷見市におけるケアネット活動

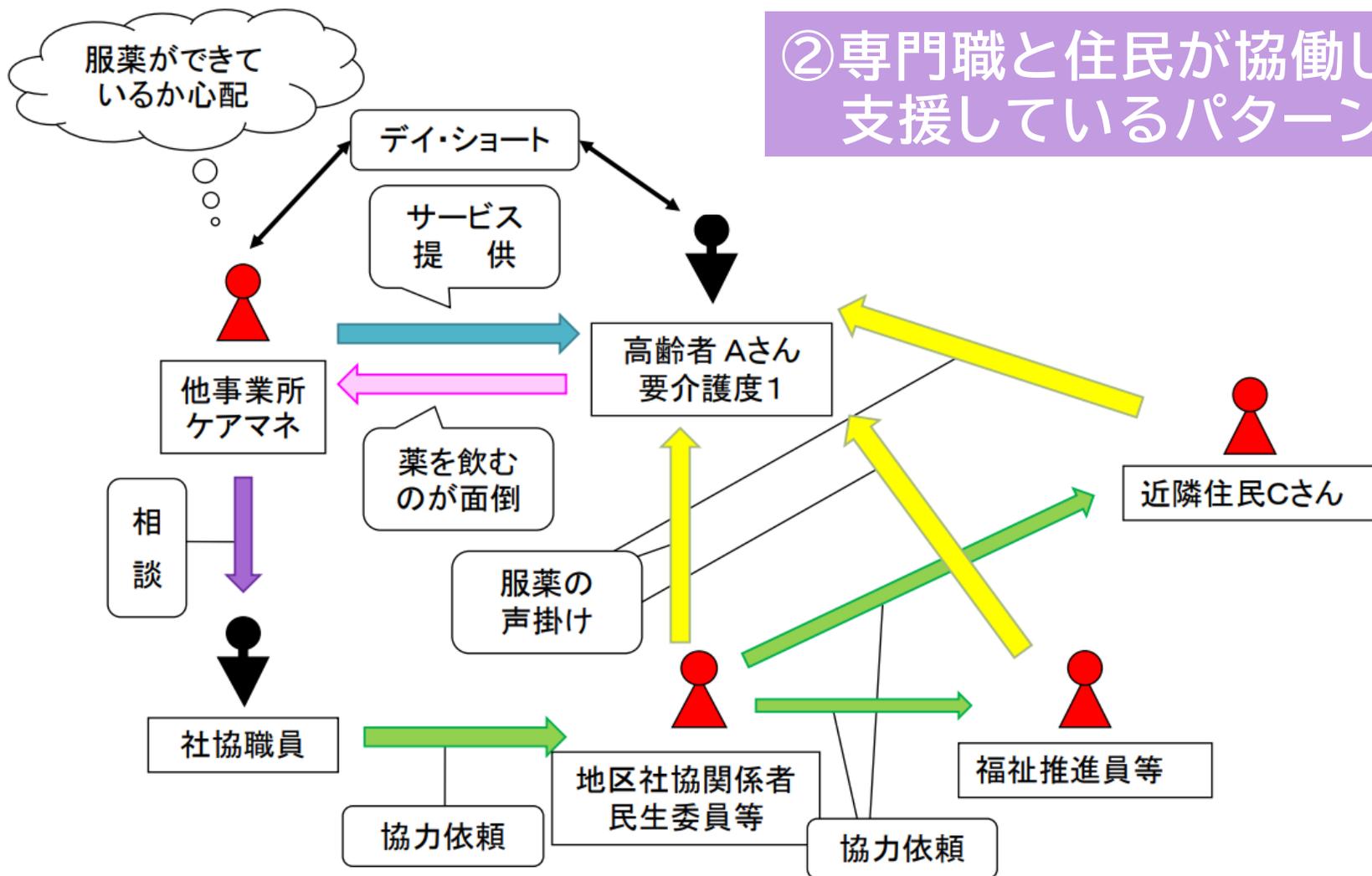
①地域住民が主体となって支援しているパターン



●昔ながらの隣近所のお付き合いの延長で、サービスを使うほどでもないが、日常生活を送るうえで、困難な部分を支えあう活動

# 氷見市におけるケアネット活動

## ② 専門職と住民が協働して支援しているパターン



様々な専門職の支援や 公的サービスだけでは 補えない生活課題を、  
地域住民の支援と融合 させた支援を展開

# 氷見市が災害に備えて、平時に取り組んでいたこと

●地区社協の協力のもと、  
**「命のボタン」**  
 (= 緊急医療情報キット  
 「わたしの安心シート」)を、  
 4枚複写で、地域や社協で  
 情報共有して備えていた

- ①本人控え
- ②地区社協
- ③自治会・区
- ④社協)

支援の  
必要性

支援者情  
報

事業所  
情報

【NO. 5 (バトンにて保管)】

平成28年 ○月○日作成

## 「いのちのバトン」救急及び災害時要援護者情報シート

自治会名	豊領	地区社協名	仏生寺	担当民生委員	富山 一
氏名(ふりがな)	ほそごえ たろう		生年月日	性別	血液型
	細越 太郎		明・大 10年 3月 4日	男	A・B・AB・O (RH +・-)
			岡・平	女	不明
住 所				電話番号	
氷見市豊領 〇〇△△番地				0766-91-xx〇〇	

### 医療情報

現在治療している 病気(ケガは除く)	脳・心臓・肺・胃腸・肝臓 その他( 糖尿病 )	脳・心臓・肺・胃腸・肝臓 その他( 腰痛 )			
現在飲んでいる薬 ※薬剤情報の写しを 入れておく	高血圧・血液をサラサラにする薬・胃腸 薬 糖尿病・インスリン・痛み止め その他( )	高血圧・血液をサラサラにする薬・胃腸 薬 糖尿病・インスリン・痛み止め その他( )			
これまで治療した大 きな病気(ケガ含む) 有・無	脳・心臓・肺・胃腸・肝臓 その他( )	脳・心臓・肺・胃腸・肝臓 その他( )			
手術(有・無)	病名	病名			
特記事項1	インスリン 有・無	携帯酸素 有・無	ペーメーカー 有・無	人工透析 有・無	アレルギー 有( )・無
特記事項2					

### 本人の状況

<input checked="" type="checkbox"/> 一人暮らし	<input type="checkbox"/> 高齢者のみ世帯	<input type="checkbox"/> 同居者あり	<input type="checkbox"/> 日中一人暮らし状態
<input type="checkbox"/> 障害者	<input type="checkbox"/> 聴力に不安がある	<input type="checkbox"/> 視力に不安がある	<input type="checkbox"/> 判断に不安がある
<input type="checkbox"/> 介助が必要	<input type="checkbox"/> 介護が必要	<input type="checkbox"/> 車イス使用	<input type="checkbox"/> 寝たきり状態である
<input type="checkbox"/> 階段の昇降ができない	<input type="checkbox"/> その他		

### 緊急連絡先

ふりがな	① ほそごえ いちろう	② おおくぼ はなこ
氏名	細越 一郎	大庭 花子
本人との続柄	長 男	二 女
住 所	氷見市柳田〇〇〇〇-△△	東京都渋谷区〇〇町渋谷ハイツ〇〇-x x
電話番号	自宅・携帯 (090) 〇〇〇〇-〇〇〇〇	自宅・携帯 (090) 〇x x〇-〇△△〇

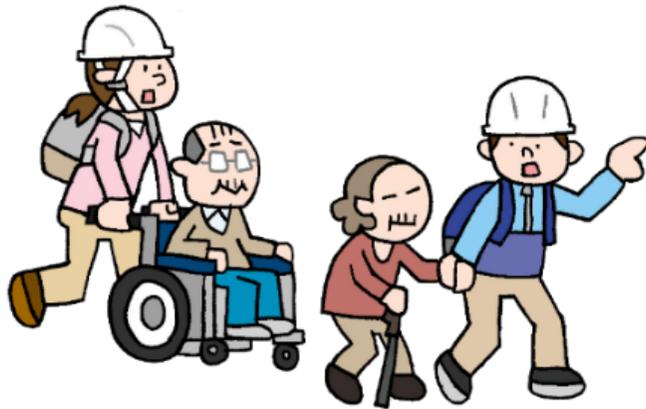
支援者 ケアネット 協力者	ふりがな 氏名	電話番号	自宅・携帯 ( ) -
	ふりがな 氏名	電話番号	自宅・携帯 ( ) -

居宅介護支援事業所及び 障害福祉サービス事業所	事業者名	所在地	担当者名	電話番号
----------------------------	------	-----	------	------

問い合わせ先 氷見市社会福祉協議会・氷見市ラニティ総合センター 74-1800

# 氷見市が災害に備えて、平時に取り組んでいたこと

●地区社協の協力のもと、  
福祉と防災を併せた  
マップを作成していた。



見守りや  
生活支援  
(ケアネットのしくみ)



ハザードマップの確認  
見守り・支え合いマッ  
プづくり



「わたしの安心  
シート」活用

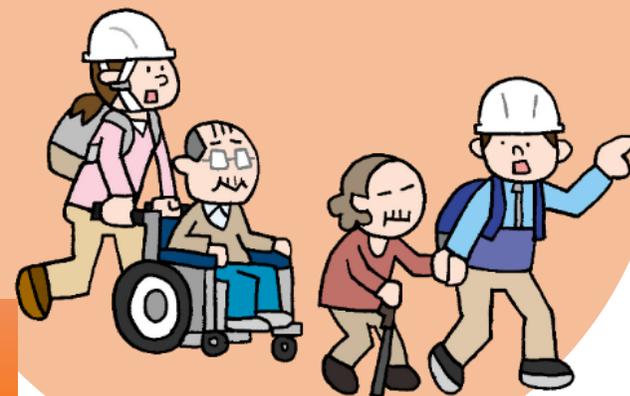
冷蔵庫に  
入っていますか？  
「わたしの  
安心シート」



## 個別避難計画 の作成



## 要支援者参加型 避難訓練



## 避難所運営 マニュアルづくり



# 「あなたの声が、 あなたのまちと伊賀の未来をつくる！」

あなたのまちをよくするために！



伊賀市を良くするために！